

事業シート(令和2年度決算)

31_建設課_1

事業名	71100 道路河川等整備推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	土木管理費		根拠計画				
			目	1	土木管理費						
担当課	建設部 建設課	内線	2321								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国、県の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。 	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	3,654	3,524	3,390	3,390	3,164	△ 360
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源	3,654	3,524	3,390	3,390	3,164	△ 360
個票枝番	主な事業内容					
	各種同盟会への負担金	3,314	3,195	3,050	2,992	△ 203

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,343	3,240	3,240	△ 150
3,343	3,240	3,240	△ 150
査定額	説明		
2,900			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ11回(7月～12月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 中部縦貫自動車道事業を強力に促進するため、行政と経済団体が連携して国へ要望活動を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟会負担金の低減を図った。 中部縦貫自動車道(平湯～日面)が計画段階評価を進める調査対象区間に決定。 国道156号尾神橋の新設事業化が決定。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ12回(6月～11月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 7月豪雨における災害復旧事業の促進に向け、国、県、JR東海等へ緊急要望書を提出し、事業促進を提言した。 中部縦貫自動車道事業を強力に促進するため、行政と経済団体が連携して国へ要望活動を実施した。 市道整備に伴う予算確保のため国へ要望活動を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟会負担金の低減を図った。 7月豪雨で被災した国道41号、国道471号及び国道158号の応急復旧が迅速に実施された。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・道路及び河川等の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

31_建設課_1

71100

事業シート(令和2年度決算)

31_建設課_2

事業名	72300	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	~		7	土木費	まちづくり戦略		(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築			
	72380		2	道路橋りょう費	橋りょう長寿命化修繕計画						
	担当課		建設部 建設課	内線	2328		3	道路新設改良費	根拠計画		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
耐震、長寿命化対策実施橋りょう数(累計)	105橋	113橋	150橋
安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	53.5%	67.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		753,590	531,974	351,990	461,153	433,565	△ 98,409
特定財源	国費(道路整備事業費 5.5/10、5/10)	264,663	209,708	163,700	163,700	144,000	△ 65,708
	県費						
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金 等)	343,133	146,630	134,000	134,000	184,575	37,945
一般財源		145,794	175,636	54,290	163,453	104,990	△ 70,646
個票枝番	主な事業内容						
	道路改良・道路舗装・側溝改良	314,354	212,446	106,500	106,500	92,802	△ 119,644
	橋りょう長寿命化改良	208,746	202,176	214,000	214,000	204,979	2,803
	旅行村線	11,000	813	30,000	37,820	33,746	32,933
	宮川人道橋(景観まちづくり刷新事業)	218,000	116,539		101,343	101,040	△ 15,499

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算	実施計画額	391,000
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
658,003	492,590	492,590	140,600	
332,225	251,895	251,895	88,195	
	201,000	201,000	67,000	
325,778	39,695	39,695	△ 14,595	
査定額	説明			
62,600	中切63号線 ほか			
115,500	三福橋 ほか			
313,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川人道橋の施工。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 道路改良・道路舗装・側溝改良を実施した。 千島松本線 千島線 上切中切2号線 村上田頃家線(村上橋) 道路拡幅に必要な用地取得を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理経費や将来的な更新費用なども含めた総合的な視点から取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川人道橋(行神橋)を完成した。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事(田頃家橋等)を実施した。 道路改良・道路舗装・側溝改良を実施した。 上切中切2号線 旅行村線 下三之町本町線 下切37号線 道路拡幅に必要な用地取得を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	橋りょうの長寿命化、道路の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

31_建設課_2

72300

事業シート(令和2年度決算)

31_建設課_4

事業名	74300	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	～		款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
	74315		項	4	都市計画費		根拠計画				
	担当課		建設部 建設課	内線	2328			目	2		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の新設 都市計画道路 松之木千鳥線 ・道路の拡幅改良、歩道設置、無電柱化
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
都市計画道路(市道部分)の整備率	57%	57%	-
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	53.5%	67.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		77,648	48,762	396,648	404,648	146,764	98,002
特定財源	国費(街路整備事業費 5.5/10)	3,850	0	141,900	141,900	46,800	46,800
	県費()						
	その他(都市計画税、公共施設整備基金繰入金)	30,000	30,000	246,600	246,600	93,353	63,353
一般財源		43,798	18,762	8,148	16,148	6,611	△ 12,151
個票枝番	主な事業内容						
	都市計画道路松之木千鳥線	77,000	48,319	396,000	404,000	146,336	98,017

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		307,500	
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
334,461	295,648	295,648	△ 101,000				
173,560	155,900	155,900	14,000				
159,549	139,100	139,100	△ 107,500				
1,352	648	648	△ 7,500				
査定額	説明						
295,000	千鳥工区、松之木～江名子工区						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 松之木千鳥線 千鳥工区 道路詳細設計 松之木～江名子工区 道路予備設計
評価等	・財源確保に向けた国・県等への働きかけを積極的に行いながら、計画的な事業進捗に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 松之木千鳥線 千鳥工区 踏切詳細設計、用地取得、物件補償 松之木～江名子工区 道路予備修正設計、取り付け道路の詳細設計、地権者調査、残土調査
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。 ・コロナ禍の影響を考慮した事業執行が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	道路の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

31_建設課_4

74200

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	4	都市計画費		根拠計画				
			目	3	中部縦貫自動車道等推進費						
担当課	建設部 建設課	内線	2372								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,600	1,464	3,090	3,090	362	△ 1,102
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		2,600	1,464	3,090	3,090	362	△ 1,102
個票枝番	主な事業内容						
	中部縦貫自動車道の整備促進	1,100	977	1,090	1,090	274	△ 703
◎ 1	国道41号宮峠トンネル完成イベントの開催			2,000	2,000	88	88
	東海北陸自動車道4車線化事業開通イベント等の開催	1,500	487				△ 487

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		1,100
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,195	1,090	1,090	△ 2,000	
1,195	1,090	1,090	△ 2,000	
査定額	説明			
1,090				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動の実施 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会への参加、協力
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。 ・国道41号宮峠トンネルの完成イベントを規模縮小して実施した。 ・中部縦貫自動車道(平湯～日面間)の事業化に向けたアンケート調査の啓発活動に協力した。
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。 ・事業化に向けたアンケート調査の結果、非常に多い回答が得られ、市民の関心及び認知度の高さが確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中部縦貫自動車道等の事業推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 建設課
枝番・内容	1 国道41号宮峠トンネル完成イベントの開催		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	7	土木費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	都市計画費	内線	2372	
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		3	中部縦貫自動車道等推進費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。	概要	・国道41号宮峠トンネルの完成を祝して、完成イベントの開催
----	---	----	-------------------------------

[参考] H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	国道41号宮峠トンネル完成イベント実行委員会負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		88
対前年度増減額(決算)		88

R3当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・国道41号宮峠トンネル完成イベントに係る実行委員会への負担金
[スケジュール]	・令和2年度10月 イベント開催(予定)

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して国・県主催の開通式典と同時に完成イベントを開催した。 ・開催日 令和2年12月12日 ・関係者 70人
[評価等]	・小規模であったが、住民による郷土芸能の披露や地元小学生が参加してのテーブルカットなど、地域と一体化したイベントが開催できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	